

■参考情報

【農研機構について】

農研機構（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）は、茨城県つくば市に本部を置く、我が国最大の農業・食品分野の研究機関です。農業・食品分野における「Society 5.0」の実現により、①食料安全保障と食料自給力向上、②農産物・食品の産業競争力強化と輸出拡大、③生産性向上と環境保全の両立に貢献することを目標に掲げ、これらを達成するため育種、栽培、畜産、食品、スマート農業、農業AI、バイオテクノロジー、防災・減災、環境、動植物防疫、種苗管理など幅広い分野で研究開発を推進しています。農研機構はINRAEと2016年にMOUを締結し、発酵研究の強化、植物フェノタイピング研究での国際ネットワーク立ち上げや農業ロボティクス研究での共同研究室設置など様々な成果を上げています。またヴィタゴラに2020年に学術メンバーとして加盟し、フランスでの日本産農産物の市場調査や4回にわたる国際シンポジウムの開催を行っています。

【ディジョンメトロポール (Dijon Métropole) について】

ディジョンメトロポールは、フランス東部ブルゴーニュ地方に位置する広域自治体で、ディジョン市を中心に 23 の自治体で構成されています。人口約 26 万人を擁し、TGV や高速道路によりパリやリヨンからのアクセスも良好です。特にディジョンは「美食の都」として知られ、ワインやマスタードなどの特産品に加え、フランス政府の認定した 4 つの国際美食都市の一つ、国際美食とワインの都市 (Cité internationale de la Gastronomie et du Vin)」を中心に、食文化の発信地として世界的に注目されています。ディジョンメトロポールは、2050 年までにカーボンニュートラルを達成することを目指す取り組みを進めており、その活動と取り組みは、ディジョンを欧州の「パイロット都市」と位置付ける欧州連合 (EU) によって認められ、支援されています。食の変革に向けた戦略的行動計画「ProDij」は、生産から消費に至る食品サプライチェーン全体で炭素排出量を段階的に削減すると同時に、あらゆる人々に健康的で適切な食料を保証するという、欧州レベルで認定されたこの目標に完全に沿ったものとなっています。

【ヴィタゴラ (VITAGORA) について】

ヴィタゴラは、フランス政府認定のアグリフード・イノベーションクラスターで、ディジョンを拠点に「おいしく、健康的で、持続可能な食」の実現を目指す産学官連携のネットワークです。約 680 の企業・研究機関・大学などが加盟し、食品の高付加価値化やスタートアップ支援、国際連携を推進しています。特に日仏連携においては、発酵研究、健康・栄養に関する研究、持続的な食料システムに関する共同プロジェクトの設立を支援するとともに、若手人材の育成や研究者の交流などを支援しています。

こうした取り組みを通じて、ヴィタゴラは、すべての人に健康的で持続可能な食を提供するための日仏イノベーションエコシステムの構築において、主導的な役割を果たすことを目指しています。